**避難・伝達訓練手順　シナリオ**

**[BCP発動基準の想定]**

大雨により〇●市で市内河川の氾濫警戒情報が発令されたのを確認し、BCP発動の準備に入る。同時に河川情報から、短時間に氾濫危険水位に到達する危険性が高まった。BCP発動。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **設定** | **被災施設・事業所** | **受入施設** |
| 例）10：00～12：00（約2時間程度を設定）☑それぞれの行程について、誰が報告を受けるのか?（携帯が繋がらないことも想定し） | ●利用者5名を連携した受入施設へQ利用者の情報（紙媒体?　データ?）●2台の送迎車Q被災施設、受入側施設、どちらの車両で?　（原則、被災施設側?）Q誰が運転手?　職員の誰が同乗?●受入施設までのルートを確認●受入施設側職員の誘導に従う | ■被災施設から利用者5名が避難してくることの職員間の周知■ビブス等をつけた職員が立つ道路箇所の確認Q一方通行、縁石、段差等注意する箇所は? （溝や水路、脱輪等気をつける場所は）Q車寄せ等の場所の確認は? （ピロティ―、緊急車両専用等スペースの使い分け等）■降車誘導■利用者をどこに避難させるのか、の確認■十分な受入環境の整備（誰が主担当?）（被災施設側の職員が戸惑わないよう）■水、食料、紙オムツ等避難利用者に必要な物品は、原則、受入施設側で準備 |
| **[備考]**●深夜（夜勤帯）●大雨を想定したら | Q深夜、大雨を想定し、避難に時間がかかる際に必要な備品等は? | ●受入施設側が送迎車や運転手・同乗する職員を手配した場合には、ある程度の調整は省略できる・行動完了後、被災施設へ送る場合は、受入施設側が（逆の訓練にもなる。受入施設側の送迎職員が、被災施設側のロケーションを把握する必要がある）・被災施設側が送迎した場合、施設に戻れない可能性も想定する・受入施設側から避難利用者の家族等へ電話連絡等する機会が頻発し、固定電話等の料金が多く発生する（避難が長期化した場合） |

* 訓練終了後、反省会を実施
* その後、参加した職員との人事交流（その後の展開にかなり効果的。次回の避難訓練では、被災施設・受入側施設入れ替えて実施するため）